

猫が脱走しやすい玄関、窓、ベランダの脱走防止策を詳しく紹介します！

① 玄関の脱走防止策

玄関は最も猫が脱走してしまう可能性の高い場所です。買い物に行く前や仕事に行く前など、扉を開ける時には必ず猫が近くにいないか確認することを習慣付けするようにしましょう。扉を半開きにしたまま放置しないように気を付けることも重要です。飼い主さんが外出する際に猫の存在を気にしていたとしても、帰宅した際に「ドアを開けたら玄関で帰りを待ってた！ かわいい〜」と思った次の瞬間に外に飛び出してしまったということもあります。油断は禁物です。

新たに部屋を選ぶ機会があれば、玄関と廊下・リビングを隔てる内扉がある部屋を選ぶのがおすすめです。内扉がしまっている限り猫が玄関に出てくることはありませんので、安心して玄関の扉を開け閉めすることができます。マンションの場合は、内廊下を選ぶのもおすすめです。万が一、猫が玄関から飛び出してしまっても廊下で確保することができます。

「いま住んでる家は一軒家だし内扉ないし……」という方には、玄関と廊下を隔てる突っ張り棒タイプの扉やパーテーションなど、脱走防止用のアイテムを使いましょう。突っ張り棒タイプなら工事の必要も無く設置が可能です。応用次第で「キッチン」や「階段」などの猫が入ってきてほしくない場所にも使うことができますよ。

万全の脱走防止策を

猫は一度脱走してしまうと、家に戻ってこない可能性も十分に考えることができます。飼い主さんが「うちの子は大丈夫だから」と安易に考えてしまうことが一番危険です。猫の脱走防止対策は必ず行うようにしましょう。

② 窓の脱走防止…（部屋の窓、浴室・トイレの窓など）

突っ張り棒とネットで対策。百円均一などで売っているネットを窓のサイズに組み合わせます。調整部分はネットを重ねます。結束バンドを使えば簡単に組み立てられます。

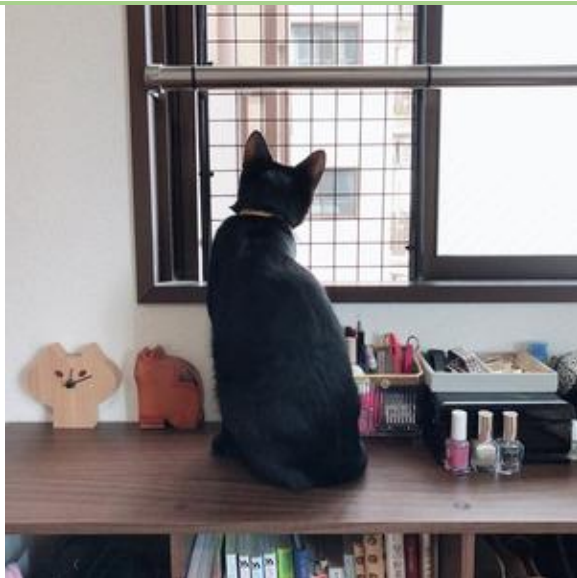
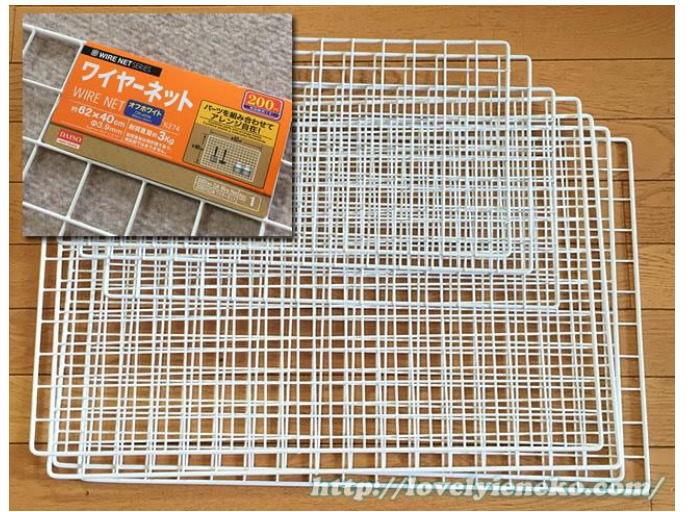
うっかりミスが命取りになる場合があります。脱走防止対策は念入りに。

ネット上には様々な脱走防止対策の例が載っています。ご参考までに。

猫の脱走対策・・・自分でもできる → <https://elife-media.jp/6452/2>

かわいい猫さんとの生活を楽しむために

脱走されてから後悔しても遅いのです。猫の習性を考えて事前の対策をしましょう！



窓用ストッパー



玄関の手前にもう一つ脱走防止扉を付けると安心です。

